



中野都税事務所長
内藤 泰樹

ただいまご紹介いただきました東京都中野都税事務所長の内藤でございます。

今日は、公益社団法人中野法人会第8回通常総会にお招きいただき、誠にありがとうございます。

宮島会長をはじめ、会員の皆様方には、都政全般にわたり深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

特に、都の税務行政に対しましては、都税広報記事の会報掲載や、各種イベントでの広報協力、適正な申告納付や、電子申告の推進活動等格別のご協力をいただいておりますことに、重ねて御礼申し上げます。

先程、全ての議案が滞りなく承認されましたことを、心よりお喜び申し上げます。

さて、新元号「令和」の下、新たな時代が幕を開けました。

東京にとっても、150年の歴史に続く次のステージに歩み始めたところです。

今年は、ラグビーワールドカップイヤーを迎え、東京2020大会も来年に迫っております。

世界の期待に応える大会を実現し、東京のさらなる進化へと繋げていくため、準備の総仕上げに邁進してまいります。

また、2020年を超えたその先において、東京と日本が成長を続けていく礎を築き、東京の地力を底上げするために、都市力を強化し、東京の稼ぐ力を戦略的に高め、人と人を繋いで都市の活力を引き出してまいります。

多くの課題を乗り越え、持続可能な都市・東京を実現していくためには、皆様から納めていただく都税は大切な財源となります。

皆様からのご協力をいただきながら、都税収入の確保に一層努めるとともに、中小企業支援対策や環境対策など、税制面からの支援も継続してまいります。

私ども中野都税事務所、職員一同、納税者の立場に立ち、これまで以上に丁寧で分かりやすい説明に努め、親切できめ細やかな対応を心がけながら、適正・公平な賦課徴収を進めてまいります。

今後とも、皆様方の一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、中野法人会の益々のご発展と、ご列席の皆様方のご健勝と事業のご繁栄を祈念申し上げます。私の祝辞とさせていただきます。



中野区長
酒井 直人

ご紹介いただきました、中野区長の酒井でございます。先ほどは、第8回の通常総会が無事終了され、また、宮島会長が引き続き重責を担われるということで、心からお喜び申し上げます。

また、私は、既に中野法人会の会員でございますけれども、第3支部に所属しているということをお知らせです。

先ほどは、多くの方が表彰されまして、誠にありがとうございます。本日、表彰されました皆様始め、法人会の皆様には、日頃から中野区内の様々なところで事業を展開していただき税務行政にご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

さて、今年、令和元年になりました、ワールドカップが行われ、来年はいよいよオリンピック・パラリンピックということになります。

中野区としては、今年、一般会計予算が1500億を超えるということになり、史上最大規模の予算ということになります。税収が増えてきて、今後、どういうふうになるか、なかなか予想がつかないところがありますが、とにかく、頂いた税金を有効に活用していくということが我々行政にとっての大きな使命だと思っております。皆さんと共に、中野をより良い街にするためにしっかりと行政を行っていきたく思っております。

また今年、「中野の10年後をどう作っていくか」ということを決める基本構想について、既に審議会が立ち上がっておりまして、区民の皆さんに集まって頂き、ミーティングを行ったりして少しずつ進めてきておりますが、10年後の中野が、東京の中でも輝いていられるように、しっかりと議論をして姿を描いていきたいと思っております。

法人会の皆さま方にも、この基本構想についてご協力を頂き、中野区の未来を作るために一緒にやって頂きたいと思っておりますので、是非ご協力を頂きたいと思っております。

結びに当たりまして、ご参会の皆様のご健勝、ご多幸、法人会の益々のご発展を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。本日はおめでとうございます。



ご来賓の皆様



役員の皆様
(通常総会)



祝辞：酒井区長